



社会医療法人 青雲会

青雲会病院 入院案内



目 次

■ 院内のご案内	1
■ 院内の設備	2
■ 入院時、ご用意して頂くもの	3
■ 入院の手続きについて	4
■ 病状説明について	4
■ 入院中のご案内、食事について	5
■ 入院医療費、入院中の他医療機関受診について	6
■ 入院医療費のQ & A	7
■ 入院費のお支払い、高額療養費制度について	8
■ 個室・特別室料金の案内	9
■ 必ず守っていただきたいこと、貴重品の管理等	9
■ 医療福祉相談、医療安全相談の窓口	10
■ 診断書等の申込みについて	11
■ カスタマーハラスメント等に対する青雲会の方針	12
迷惑行為について	
■ 医療安全の取り組み	13
■ 転倒・転落防止対策について	14
■ 身体拘束に関する説明書	15
■ 食物アレルギーの対応について	16

<提出が必要な書類>

- ☐ 入院時患者状態確認書
- ☐ 重要事項に関する同意書
- ☐ 入院についての自己申告書
- ☐ 入院申込書
- ☐ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）

<その他>

診断書・証明書および保険外費用の一覧表

院内の案内



【病室】 601～615

ナースステーション 展望温泉 ラウンジ 洗濯室
テレビカード券売機 コインランドリー



【病室】 501～522 特室A 特室B

ナースステーション



【病室】 401～423 特室C

ナースステーション 高気圧酸素治療室 医療安全管理対策室
テレビカード券売機・精算機



リハビリテーション室(理学療法・作業療法・言語聴覚療法)

企画地域連携室 大会議室 小会議室



手術室 手術待合室 透析室 人間ドック

総務事務室



診療1～9 泌尿器科 眼科 歯科口腔外科 点滴室 化学療法室
内視鏡室 放射線科(MRI室・CT室・血管造影室・X線透視室・
乳房撮影室・結石破碎装置室・歯科撮影室) 検査室(心電図室・脳波室)
栄養指導室 入退院支援センター 薬局 受付・会計・自動精算機
売店 喫茶コーナー 電話コーナー(公衆電話・無料タクシー呼出電話)

院内の設備

●テレビのご利用について

プリペイドカードを使用してご覧下さい。

1枚 1,000円（券売機は4階、6階談話室に設置）

プリペイドカードの残数がある場合は、4階のカード精算機で払い戻しができます。

他の方への配慮のため、テレビ視聴はイヤホンをご使用下さい。

イヤホンは1階売店にて販売しております。尚、ご自宅から持参されても構いません。

●公衆電話について

1階に1台、5階・6階に各1台ずつ設置しております。

また、1階薬局横に無料のタクシー呼出電話があります。

●売店について

営業時間 月～金曜日 9:00～16:00

土曜日 9:00～13:00

店休日 日曜日・祝祭日、年末年始

TEL.0995-66-4148

●冷蔵庫について

4階・5階・6階に設置しております。 使用料 1日 110円（消費税込）

希望される方はナースステーションにてお尋ね下さい。

●入浴について

必ず主治医の許可が必要となります。大浴場を利用される方は、『同意書』の記入が必要です。内容については各病棟でご説明いたします。

ご希望の方は看護師にお尋ね下さい。

6階 天然温泉大浴場

ご利用時間 ・月～金曜日（土曜日・日曜日・祝祭日は利用できません）

・9:00～15:00

※ボディーソープ・シャンプー・タオル等をご持参下さい。

●洗濯について

6階にコインランドリー（有料）と洗濯物干し場があります。

洗濯機 1回 200円（消費税込） 乾燥機 30分 100円（消費税込）

ご利用時間 7:30～18:00（19:00に施錠致します）

※洗剤等はご持参下さい。

洗濯できない方は業者による病衣レンタルまたは有料洗濯サービスがございます。

希望される方はナースステーションにてお申込み下さい。当院スタッフによる洗濯はできません。

入院時、ご用意して頂くもの（準備するときにチェックしていきましょう）

- ☐ マイナンバーカード（または健康保険証・健康保険資格確認書など）
- ☐ 医療受給者証（指定難病、重度心身障害者医療など）
- ☐ 介護保険証、介護保険負担割合証
- ☐ 身体障害者手帳
- ☐ 退院証明書（3か月以内に他院で入院されていた方）
- ☐ お薬手帳
- ☐ 服薬中のお薬
- ☐ シャンプー
- ☐ ボディーソープ
- ☐ バスタオル 5～6枚
- ☐ タオル 5～6枚
- ☐ 箱ティッシュ
- ☐ 歯ブラシ（入れ歯のある方は容器をお持ち下さい）
※ご自身で歯磨きができない場合は、「口腔ケアセット」をご用意下さい。
院内の売店で購入できます。
- ☐ マスク
- ☐ イヤホン
- ☐ 充電器（携帯電話等）
- ☐ 寝巻 ※病衣レンタルまたは有料洗濯サービスもあります
- ☐ 洗濯類を入れる袋など
- ☐ 靴（かかとのあるもの）
※当院は転倒防止の為にスリッパは禁止しております
- ☐ コップ2個（プラスチック製）
- ☐ 電気カミソリ（男性の方）
※ご自身でひげを剃れない場合、T字カミソリを持参しないで下さい。



※眼科手術の患者さんは
必要ありません。

<持込み禁止のもの>

- ・生花や鉢植え等の植物（感染対策のため）
- ・刃物類（包丁、ナイフ、ハサミ、カッターなど）
- ・テレビ、冷蔵庫、電気ポットなどの家電製品

所持品は氏名を記入され、患者さん御自身の責任において
保管されますようお願い致します。

●手術予定のある方は、別紙にて説明いたします。

入院患者さんへ

入院の手続きや入院生活、その他必要なことをまとめております。
また病院ホームページの『入院のご案内』では一日の流れなど
入院中の過ごし方について詳しく掲載しております。
こちらのQRコードからご覧になれます。



『入院のご案内』

1. 入院の手続きについて

- (1)入院当日は10：00までに自動受付機にて外来受付を済ませて下さい。
診察が終わりましたら、診察室待合いにてお待ち下さい。診察状況により
入院がお昼前後になる場合もあります。
- (2)『入院時患者状態確認書』・『重要事項に関する同意書』・『入院についての自己申告書』
『入院申込書』・『アドバンス・ケア・プランニング（ACP）』は、入院する
病棟ナースステーションに提出して下さい。
また、前院の退院証明書をお持ちの方は1階受付に提出して下さい。
- (3)マイナンバーカードまたは健康保険証・健康保険資格確認書を確認いたします。
(マイナンバーカードを利用する場合は、原則、顔認証または暗証番号の入力が必要です。)
その他、介護保険証、障害者手帳、重度心身障害者医療費助成受給者証などの
医療費助成の受給者証等の提示をお願いします。
限度額適用認定証等については、マイナンバーカードまたは健康保険証による
オンライン資格確認が可能となります。ただし、マイナンバーカードへの保険情報の
登録状況により確認できない場合があります。
提出のない方・有効期限切れの方は、全額自己負担（10割負担）で
ご請求致します。**尚、住所・電話番号等の変更はすみやかにお知らせ下さい。**
※令和6年12月2日以降、健康保険の資格確認は厚生労働省の方針に従い対応いたします。
- (4)病室の入り口に名前を掲示致します。
掲示をご希望されない場合はお申し出下さい。

2. 病状説明について

- (1)病状説明をご希望の際は、前もって病棟師長又は担当看護師にご相談下さい。
後日、日時をお知らせ致します。
尚、患者さんの症状によっては休日・深夜にかかわらず当院より連絡する
場合がありますので予めご了承下さい。
- (2)主治医の説明を受ける際はご家族と一緒に聞き下さい。
(病状によりご本人が動けない場合はこの限りではありません)
- (3)治療や検査については十分な説明と患者さん・ご家族の同意の上進めます。

3. 付き添いについて

病状によってご家族が付き添いをご希望される場合は、主治医の許可が必要です。看護師にお知らせ下さい。

4. 外出・外泊について

主治医の許可が必要となります。外出・外泊をご希望の際は、前日までに病棟看護師にお申し込み下さい。

5. 部屋移動について

病状等により部屋の移動をしていただく場合があります。

6. 開館時間

開院時間は平日7:30~18:00、土曜日7:30~17:00となっています。
日・祝日は終日閉館しています。

7. 面会について

面会は、地域や院内での感染状況により対応を判断しております。
感染対策のため、急な変更もあります。詳細については病院ホームページの【お知らせ】もしくは病棟看護師にご確認下さい。

8. 電話の取り次ぎについて

入院中の患者さんに電話を取り次ぐことは出来ません。また入院の有無等についての問い合わせは、個人情報保護の為一切お答えしておりません。直接、患者さんご本人もしくはご家族に確認していただきます。

9. 食事について

食事は管理栄養士によって管理された食事を適時適温で提供します。

食事時間 朝8:00 昼12:00 夕18:00

食事オーダーの締切時間後の外出・外泊による欠食には、食事代の支払いが生じます。欠食の連絡は、必ず締切時間までに医師または看護師までご連絡下さい。

【入院当日の食事について】

入院当日の食事は夕食からとなります。午前中に入院された場合でも、昼食は出ませんので、必要に応じてご準備下さい。

手術や検査入院の場合は医師又は看護師にご確認下さい。

【持込み食について】

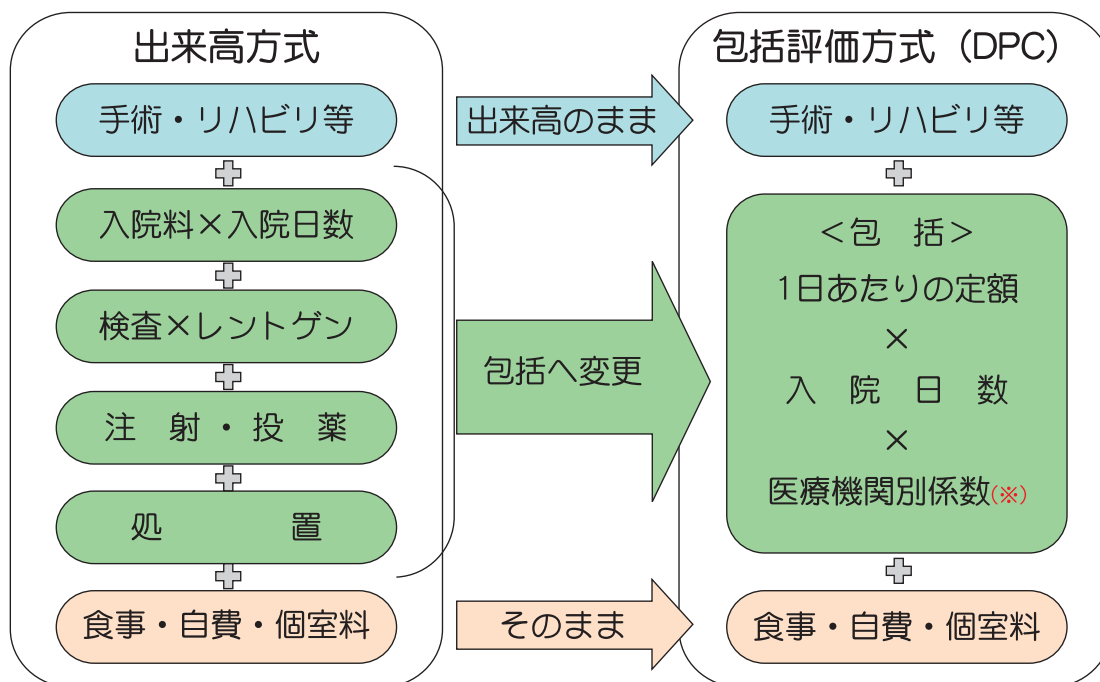
食中毒予防のために、傷みやすい食品（鳥刺し・生卵・豆腐等）は持ち込まないで下さい。食事制限のある方は、当院の食事以外は主治医の許可が必要です。

許可なく持参した食べ物による事故（誤嚥・窒息・アレルギー等）については責任を負いません。

10. 入院医療費について

当院の入院医療費の計算方法はDPC（診断群分類包括評価）方式です。

「DPC(包括評価方式)」とは、旧来の診療行為ごとに治療費を合計して入院費を計算する方法（出来高方式）と違い、入院される患者さんの病名や病状などをもとに手術や処置の内容に応じて、厚生労働省が定めた分類（診断群分類）ごとの1日当たりの定額（投薬、注射、処置、入院料等）と出来高（手術、リハビリ等）を組み合わせる計算方法をいい、以下のような仕組みになります。



(※)「医療機関別係数」とは、病院の機能に応じて病院ごとに定められる一定の係数です。この医療機関別係数により同じ診断、治療でも病院によって医療費の総額が異なりますのでご注意ください。

【入院中の他医療機関受診について】

他医療機関等の診療を希望される際は、まず主治医へご相談をお願いいたします。

当院入院中は、原則として他の医療機関を受診できないこととなっております。ご家族の方が他医療機関に患者さんの薬を取りに行くことも他医療機関受診として扱われますので十分ご注意ください。ただし、主治医が当院ではできない専門的な診療が必要と判断した時は、他医療機関等へ紹介する場合があります。

【入院中の希望検査等について】

DPC(入院医療包括評価制度)対象病院は、一つの疾患（診断群分類）に対して入院診療を行うことを前提とした制度です。このため、入院中に患者さんから「入院したついでに、以前より〇〇の調子が悪いので〇〇検査をお願いします。」と希望されても、医学的に緊急を要しない他の疾患の検査をご希望された場合は、原則として退院後の受診をお願いします。

【DPC(包括評価方式)入院医療費の Q&A】

Q. 医療費の支払い方法はどう変わりますか？

A. 従来どおり、月ごとの支払い（退院の時は退院時）です。

Q. 高額医療費の取扱いはどうなりますか？

A. 高額医療費制度の取扱いに関しては、これまでと変わりません。

高額療養費を見越した自己負担限度額のための支払いで済む高額療養費の現物給付制度も従来どおりご利用可能です。

Q. 特定疾患（公費）を持っていますが、その時の支払いは？

A. 特定疾患（公費）の病名が入院の主たる治療目的である場合は、包括評価になっても公費適用になります。

Q. 診断群分類とは？

A. 診断群分類とは約500種類の主要な疾患(病気)を基本として手術、処置、副傷病名の有無などによりさらに4,900種類以上に分類したものです。

Q. すべての入院患者さんがこのDPC制度の適用になるのですか？

A. 下記のような場合には、従来の計算方式（出来高方式）となります。

- ・労働災害、公務災害、交通事故(※)(自賠責保険適用)、自由診療で入院される方
- ・入院後24時間以内に亡くなられた方

(※)交通事故による患者さんで医療保険を使用する場合はDPCの対象となります。

Q. DPCの対象となる病気でも出来高方式で計算してもらえますか？

A. 自らの意志で出来高方式による算定を選択することはできません。

Q. 入院途中で病名、診療科が変わった場合の入院医療費はどうなりますか？

A. 入院当初の病名から、入院後の治療や検査等で病名が変わった場合は、病名が変わった時点で入院日に遡って、確定した病名による診断群分類で医療費の計算をやり直します。

入院中に月が変わり、病名が変更になった場合は、前月分の医療費の差額を退院時に過不足調整致しますので、予めご了承ください。

入院中に診療科が変わった場合や、複数の病気治療のために入院されていても、入院期間中に最も集中的に治療を行った病名の診断群分類で計算を行います。

Q. 今飲んでいる薬はどうするの？

A. 現在、当院または他の病院の薬を服用されている患者さんは、入院される際、服用中の全ての薬をお持ちください。医療の安全を守るため、薬剤師が、重複処方がないかどうか等確認致します。

11. 入院費のお支払いについて

(1)入院費は厚生労働省の定める診療報酬により計算致します。

D P C（包括払い）対象病院です。

(2)請求書は月末締めにて、翌月10日（日曜・祝日の場合はその翌日）に配布致します。15日までにお支払下さい。

退院の際は、1階受付に請求書を準備しておりますのでお声掛け下さい。

請求書のお渡しは原則10：00以降となります。

入院費は退院日に完納して下さい。

日・祝日、夜間に退院となった場合は、後日、お支払いについてご連絡いたします。

入院費の概算等については、各階の事務担当者にお尋ね下さい。

支払い場所	1階 自動精算機
取扱い時間	月～金曜日 8：30～17：30 土曜日 8：30～12：30 日曜日・祝祭日は除きます。
支払い方法	現金 クレジットカード（VISA・Master Card・JCB・AMEX・Diners・DISCOVER）

自動精算機での支払いの際は、入院請求書又は診察券が必要です。

クレジットカードでお支払いの際は暗証番号が必要です。

高額療養費制度による「限度額適用認定証等」について

■高額療養費制度とは

医療機関の窓口で支払った額が、暦月（月の初めから終わりまで）で一定額を超えた場合にその超えた金額を支給する制度です。年齢や所得に応じて、支払う医療費の自己負担上限額が定められます。

限度額適用認定証等については、マイナンバーカードまたは健康保険証によるオンライン資格確認が可能となり、窓口での提示は不要となります。

■高額療養費制度に関する窓口

国民健康保険	市役所などの各市町村国保窓口
全国健康保険	各都道府県支部
健康保険組合・共済組合健保等	お勤め先の健康保険担当窓口

12. 個室・特別室案内

(消費税込)	
特室 A	22,000円
特室 B・C	11,000円
403・404・405・406・407・503・504	4,400円
416・417・418・515・516・517	3,300円
413・414・510・511・513・514 602・603・604・605・606・607	2,200円
609・610	1,100円

※緊急入院や患者さんの病状等により、個室・特別室の入院はご希望に沿えない場合がありますのでご了承くださいませ。

13. 非常時について

- (1)非常時は、医師・看護師及び病院職員の指示・誘導に従って下さい。
- (2)非常時の際、エレベーターは絶対使用しないで下さい。

14. 必ず守っていただきたいこと

- (1)全館禁煙。病院敷地内も全て禁煙となっております。
喫煙は固くお断り致します。
- (2)お酒の持込みや飲酒は禁止しております。
- (3)ハサミやカミソリなど刃物類は持ち込まないで下さい。
- (4)携帯電話の使用は各階の電話または談話コーナーをご利用下さい。
(職員は電波障害を起こさないPHSを使用しております。)
- (5)医師及び職員へのお心遣いの品物・金品を受け取ることは固く禁じています。
お気遣いのないようお願いいたします。

15. 貴重品や金銭管理について

- (1)貴重品はなるべくお持ちにならないようお願いいたします。
- (2)金銭の管理は、自己管理をお願いいたします。
- (3)貴重品や金銭の紛失・盗難等に関して責任は負いません。

医療福祉相談のご案内

病気やけがに伴って起こる患者さんやご家族の不安や悩みについて
専門の相談員（看護師、医療ソーシャルワーカー）がお聞きし、対応致します。

（相談内容）

- 医療費や生活費等の経済的不安
- 退院後の生活の不安
- 転院や施設入所についての相談
- 介護保険等の医療福祉制度、サービス等の情報
- その他

受付場所	1階 入退院支援センター
相談受付時間	月～金曜日 9：00～17：00

※相談は無料です。個人情報厳守致します。

※原則、相談は予約制となります。

※相談のある方は主治医又は病棟スタッフに声をかけて下さい。

◆医療ソーシャルワーカーとは・・・

疾病を有する患者さん等が、地域や家庭において自立した生活を送ることが
できるよう、社会福祉の立場から、患者さんや家族の抱える心理的・社会的問題の
解決・調整を援助し、社会復帰の促進を図る専門職員です。

医療安全相談のご案内

下記の内容で相談を受け付けております。

（相談内容）

- 医療事故に関する苦情・相談
- 医療・看護の安全に関する苦情・相談

受付場所	4階 医療安全管理対策室
相談受付時間	月～金曜日 9：30～11：30まで 14：00～16：00まで ※必要に応じて時間の調整を致します。
担当	医療安全管理対策室 室長 眞谷（しんがい）

※個人情報は厳守致します。

服薬指導について

薬に関する説明・指導が必要な患者さん及びご希望の方に、薬剤師が週1回
病室を訪問して、薬に関する説明・指導を行っています。ご希望の方は医師
又は看護師にお申し出下さい。なお、この指導は保険診療扱いになります。

診断書等の申込みについてお願い

生命保険等の診断書が必要な方は、下記の書類を準備して退院の日が決まった後、1階受付でお申込み下さい。書類作成後のキャンセルにつきましては、文書料金をお支払いしていただきます。事前に提出先へご確認ください。

※作成は、書類の受付順に対応しており概ね3週間程度お時間をいただいております。

※ご不明な点がありましたら医事課へお問合せ下さい。

受付時間 月～金曜日 9：00～17：00 土曜日 9：00～12：00

文書料金 1通につき2,200円～11,000円（消費税込）

※入院案内の最後に料金一覧表を掲載しております。

1. 患者さん本人が申し込みの場合

- ・身分証明書（マイナンバーカード・運転免許証・保険証等）
- ・専用用紙（保険会社等）

2. ご家族が患者さんに代わってのお申込みの場合

- ・患者さん本人の身分証明書（マイナンバーカード・運転免許証・保険書等）
- ・申込みされる方の身分証明書（マイナンバーカード・運転免許証等）
- ・専用用紙（保険会社等）

3. 死亡診断書申込みの場合

- ・患者さん本人と申込みされる方との関係が証明できるもの（戸籍謄本等）
- ・申込みされる方の身分証明書（マイナンバーカード・運転免許証等）
- ・専用用紙（保険会社等）

4. 傷病手当・労災休業補償の依頼の場合

- ・専用用紙（記載する期間・仕事をした日数をご確認のうえお越し下さい）

カスタマーハラスメント等に対する 青雲会の方針

当院は、患者さんに対して真摯に対応し、質の高い医療を提供しています。

一方で、患者さんやそのご家族から常識の範囲を超えた要求や言動の中には、職員の人格を否定する言動、暴力、セクハラ等、職員の尊厳を傷つけるものがあり、これらの行為は、カスタマーハラスメントに該当する場合があります。

私達は、いかなるカスタマーハラスメントに対しても毅然とした態度で対応します。

もし、正当な理由なく職員がこれらの行為を受けた際は、職員に報告・相談を推奨しており、その際には組織的に対応します。

迷惑行為について

当院は、患者さん及び職員の安全を守り、診療を円滑に行う為に次のような行為があった場合、入院をお断りします。

1. 他の患者さんや職員にセクシャルハラスメントや暴力行為があった場合、もしくはその恐れが強い場合
2. 大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、職員の業務を妨げた場合
3. 解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げた場合
4. カメラやスマートフォンなどを用いた盗撮
5. 建物設備などを故意に破壊した場合
6. 危険な物品を院内に持ち込んだ場合

被害を受ける恐れがある場合や実際に被害にあったと判断した場合は、警察に通報します。

患者参加型 医療安全の取り組みについて

当院は医療安全の取り組みとして、医療におけるパートナーである患者さんに積極的に検査、治療等に参加して頂き、安心・安全な医療提供をしていきます。以下の内容をご理解の上、ご協力くださいますようお願いいたします。

病気の診断、検査、治療について十分な説明を提供するだけでなく、患者さんの意見や考えを取り入れ支援していきます。

1、情報の共有化

患者さんの自己決定権に対し、特別な理由がない限り、患者さんに説明と同意をおこない、信用、信頼できる医療を提供していきます。

2、医療事故防止への患者さんの参加対策

- ① 患者さんの間違いや医療事故防止の為、患者さん又は患者さんのご家族に名前を名乗っていただきます。
- ② 感染防止対策として、風邪症状がある場合はマスクの着用をお願いします。
- ③ 注射（点滴）・輸血・採血を実施する際は、ご自身のお名前と実施内容を確認して下さい。
- ④ お薬の正しい服用とその副作用について確認をお願いします。
- ⑤ 転倒転落防止に関して注意事項を掲示しています。（14ページ参照）
- ⑥ 入院に際して、分からないことは主治医又は病棟看護師にお尋ね下さい。

医療安全管理対策委員会

転倒・転落防止対策について(入院される患者さん及びご家族の方へ)

治療に専念していただく為に、生活環境を整備しながら転倒・転落の予防に十分注意を払っております。しかし、私どもの注意だけでは不十分な場合もあり、安全で快適な入院生活を送っていただく為には、患者さん一人ひとりの転倒・転落に対する認識やご家族のご理解、ご協力が非常に重要です。快適で安全な入院生活を過ごしていただく為にも、ご協力をお願いいたします。

1. 履物

履き慣れた「かかと」のあるゴム底のもの（運動靴・リハビリ靴）にしてください。スリッパやサンダルは滑りやすく脱げやすいので使用しないで下さい。靴下での歩行はとて滑りやすく危険です。ご遠慮下さい。

2. トイレ・洗面所に行くとき

就寝前にトイレをお済ませ下さい。夜間のトイレ移動は、転倒・転落の危険がある為、不安な方は遠慮なく看護師にお知らせ下さい。

3. お薬

睡眠薬や血圧の薬などを飲んだ後はふらつくことがあります。夜間はベッドランプを点けて安全を確かめてから歩いて下さい。また自己判断せず看護師にご相談下さい。

4. ベッドからの移動時や廊下を歩くとき

不安定なものを支えにしないで下さい。

(オーバーテーブル・床頭台・点滴スタンドは特に不安定なので注意が必要です。)

ベッド柵・手すりなど安定したものにつかまって下さい。

床に水がこぼれているのを見つけたら看護師にご連絡下さい。車いすを乗り降りするときは必ずブレーキをかけて下さい。足を乗せるフットレスに立つと危険です。

5. ベッドの高さ

ベッドから身を乗り出さないで下さい。転落のおそれがあります。

6. ベッドサイドの整理

ベッドの周りがある荷物は危険なので片付けて下さい。床に物を置かないで下さい。

私物は片付けて床頭台に入れて下さい。椅子や点滴スタンドが移動の妨げになるときは看護師にご連絡下さい。

7. ベッド柵・離床センサー

転倒・転落を防止するためにベッド柵や離床センサーを設置させて頂くことがあります。面会后お帰りになる際は、必ず看護師に声をかけて下さい。

※少しでも不安がある場合は、遠慮せずにナースコールを押して看護師を呼んで下さい。

ナースコールはすぐに押せる位置に置いてあるか確認して下さい。

身体拘束に関する説明書

1. 身体拘束の目的と必要性

当院は原則、身体拘束は致しません。しかし、患者さん自身の生命における危険性がある場合や安全な治療が困難な場合、また、他の患者さんの生命の危険性や安全な治療を確保出来ない場合は、やむを得ず身体拘束を行うことがあります。

2. やむを得ず身体拘束を行うときの留意点（具体的内容の説明）

- ① 点滴ルートや中心静脈・経管栄養・気管内チューブ・膀胱留置等を抜去する危険性が高い場合
- ② ベッド等から転倒・転落の危険性や骨折・外傷の危険性がある場合
- ③ 不穏、せん妄状態で、激しい体動が見られたり、急に立ち上がったり、予測不可能な行動等で身体拘束以外の手段がないと判断した場合
- ④ 手術などの創部を汚染する危険性がある場合
- ⑤ 自傷や他害の危険性がある場合
- ⑥ 病気における身体の受け入れが認識できず、治療のための安全の確保ができない場合
- ⑦ 安静が保てず生命の危険・病状の悪化が危惧される場合

3. 当院は身体拘束を行ううえで、事前に患者さん・ご家族に説明し、了解を得ることとしております。 しかし、緊急時、やむを得なく上記内容で身体拘束が必要になり、説明が身体拘束を行った後になる場合があります。ご理解をお願い致します。

（方法）・4点柵 ・壁付け2点柵 ・安全(帯) ・ベルト ・ミトン ・車椅子安全ベルト
・布や紐による固定 ・体幹抑制 ・薬物 ・その他

4. 身体拘束による合併症

- ①（皮膚の障害）抑制帯の摩擦により皮膚の擦過傷、水疱形成、骨が突出した部分に褥瘡ができます。
- ②（深部静脈血栓・肺血栓梗塞症）身体を動かさないために静脈内の血液がうっ滞し、血栓（血液の塊）ができ肺動脈がつまることです
- ③（脱臼、骨折、神経麻痺）制帯の圧迫により、循環不全や神経障害などが起こり、末梢の浮腫、チアノーゼ、感覚鈍麻、しびれ、冷感などが出現することがあります。
- ④（関節拘縮）同一体位により、関節の動きが制限され、関節が硬くなることがあります。
- ⑤（筋力の低下）動きが制限されるため、筋力が低下することがあります。
- ⑥ 鎮静剤による血圧低下や呼吸抑制等 ⑦誤嚥や窒息 ⑧その他、ストレスによる潰瘍など

※身体拘束中は常に患者さんの状況や状態を観察し、合併症が起こっていないかチェックを行い対応していきます。また、拘束する期間ができる限り短くなるように努め、患者さんの状況から身体拘束の必要が無くなれば直ぐに解除していきます。

食物アレルギーの対応について

* 下記28品目のアレルギーは対応します。

* アレルギー対応が必要な方は、主治医へお申し付けください。

食物アレルギーの方の食事はアレルゲンとなる食品を除いて提供しております。

表示義務のある8品目は完全除去としていますが、表示が推奨されている

20品目については、表示がある食品のみとなります。

表示のない加工品については対応いたしかねます。ご了承ください。

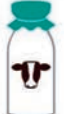
アレルギー症状

意識がなくなる、持続する咳き込み、息がしにくい、のどの詰まる感じ、
顔面腫脹、口唇の腫れ・かゆみ、蕁麻疹、下痢、嘔吐 など

アレルゲン表示

加工食品・添加物については、重い症状を引き起こしやすい、あるいは、症例数が多い8品目を
「特定原材料」と定めて省令で表示を義務付けています。

▼特定原材料 8品目 表示義務

							
卵	乳	小麦	そば	落花生 (ピーナッツ)	えび	かに	くるみ

▼特定原材料に準ずるもの 推奨20品目

							
アーモンド	あわび	いか	いくら	オレンジ	カシュー ナッツ	キウイ フルーツ	牛肉
							
ごま	さけ	さば	大豆	鶏肉	バナナ	豚肉	桃
							
やまいも	りんご	ゼラチン	マカダミア ナッツ				

* アレルギー対応の場合、揚げ物は提供いたしません。

* 牛乳を飲んでお腹がゴロゴロしたり、下痢をする乳糖不耐症や細菌・ウィルスによる
急性腹症はアレルギーではありません。

入院時患者状態確認書

お預かりした個人情報、適正な医療・介護サービスを提供する目的のために使用致します。
尚、個人情報の取扱に関しては、法令及びその他の規範を遵守致します。

患者氏名

連絡先	氏名	続柄	電話番号（携帯まで）	住所
	ふりがな			〒
	ふりがな			〒
	ふりがな			〒
主にお世話する人（キーパーソン）は誰ですか？（）				
病状等の説明は本人が同席していない場合、家族へ説明して良いでしょうか？はい いいえ				
病室入口に氏名を表示してもよろしいでしょうか？はい いいえ				
かかりつけ医がありますか？はい（） いいえ				
飲んでいる薬はありますか？はい（） いいえ				
アレルギー（食べ物や薬）はありますか？はい（） いいえ				
病気に対しての理解や受け入れはありますか？はい いいえ				
今後の療養先について				
本人希望 ☐ 自宅 ☐ 転院（） ☐ 施設（）				
家族希望 ☐ 自宅 ☐ 転院（） ☐ 施設（）				
食事について				
一日に何回食事を摂りますか？（）回				
食事の形態や制限はありますか？はい ☐ 糖尿食 ☐ 高血圧食 ☐ 貧血食 いいえ				
☐ きざみ ☐ ミキサー ☐ とろみ付				
食欲はありますか？はい いいえ（）頃から				
食事は誰が作りますか？ ☐ 本人 ☐ 妻 ☐ 夫 ☐ 子供 ☐ （）				
過去3ヶ月の食事量の減少はありませんか？ ☐ 少し減った ☐ かなり減った ☐ 減っていない				
過去3ヶ月の体重減少はありませんか？ ☐ ない ☐ 分からない				
☐ 1～3 kg減った ☐ 3 kg以上減った				
義歯（入れ歯）はありますか？はい ☐ 部分 ☐ 全部 いいえ				
排泄について				
排便 ☐ 良好（1日1回以上） ☐ 便秘（1回／2～3日） ☐ 便秘（1回／3～4日）				
☐ 便秘（1回／4日以上） ☐ 下痢（回／日）				
下剤は飲んでいますか？はい ☐ 時々 ☐ 常用 薬名（） いいえ				
排尿は1日何回ありますか？（～）回				
夜中に排尿がありますか？はい（）回 いいえ				
援助器具を使っていますか？ ☐ ポータブルトイレ ☐ 尿器 ☐ オムツ				

重要事項に関する同意書

入院するにあたり、【1. 禁止事項、2. 無断離院について、3. 転倒・転落防止について】を全てご確認後、署名をお願いいたします。

記

1. 禁止事項

下記の行為があった場合は強制退院となります。

- ・入院中の飲酒・喫煙（院内全て、正面玄関前、駐車場、芝の広場など敷地内を含む）
 - ・主治医の許可なしで外出、外泊すること
 - ・他の患者さんや病院職員に対する迷惑行為
- (1)他の患者さんや病院職員に対するセクシャルハラスメントや暴力行為、もしくはその恐れが強い場合
 - (2)大声、暴言または脅迫的な言動により、他の患者さんに迷惑を及ぼし、病院職員の業務を妨げること
 - (3)解決しがたい要求を繰り返し行い、病院業務を妨げること（カスタマーハラスメント等）
 - (4)カメラやスマートフォンなどを用いた盗撮
 - (5)建物設備などを故意に破壊する行為
 - (6)危険な物品を院内に持ち込むこと（刃物類、ライター等の発火性のもの）
- ※被害を受ける恐れがある場合や実際に被害にあったと判断した場合は、警察に通報します。

2. 無断離院について

無断離院とは、病院の許可なく病院玄関から院外へ出ることです。

- ・入院患者さんの無断離院は禁止です。
(無断離院の可能性がある場合、ご家族へ連絡・相談します。)
- ・離院して連絡が取れない場合、ご本人の安全を守る為、ご家族から警察へ連絡するようお願いすることがあります。
- ・無断離院をした場合、事故や症状の悪化について当院は一切の責任を負いません。
- ・入院中、病棟から離れる際は、必ず看護師に申し出て下さい。

3. 転倒・転落防止について

入院による生活環境の変化、病気・怪我による体力や運動機能の低下が加わり、転倒・転落事故が起こることが少なくありません。当院では、入院時に「転倒・転落スコアシート」を作成し、危険度を把握した中で医師・看護職員・リハビリスタッフ等と連携を図り、事故防止に努めております。また、家庭での生活の様子についても情報提供をお願いしております。

ご高齢の寝たきりになる原因の多くは、転倒・転落による骨折です。必要に応じて、様々な補助具を利用することがあります。また患者さんが転倒や転落した場合、患者さんの身体状況やその時の状況などを電話等でご家族へお伝えすることがあります。

不安や気になることがございましたら、遠慮なく看護師や主治医に相談して下さい。

上記 1～3 の全ての項目について説明を受け、理解し同意しました。

署名日： 年 月 日

患者氏名

代理人・代筆者

(続柄：)

入院についての自己申告書

青雲会病院 院長殿

私は本日までの3ヶ月以内に他の医療機関に入院を

☐していました。

☐していませんでした。

入院していた医療機関は

医療機関名

電話番号

入院していた期間は

年 月 日～ 年 月 日まで

入院となった病名は

です。

以上申告いたします。

年 月 日

患者氏名

入院申込書

青雲会病院 院長殿

入院に際して、貴院の諸規則をかたく守ります。もし違反した場合は、いつ退院を命じられても決して異議ないことを連帯保証人と連署して約束いたします。
尚、入院中に発生した保険外負担分については貴院が定めた料金を支払います。

入院年月日	年 月 日		
患者氏名		生年月日 年 月 日	才
住 所	〒	職業	
		固定電話	
		携帯電話	

私ども連帯保証人は上記患者の

- (一) 身元に関する一切のことに責任をもって引き受けます。
- (二) 入院料金（保険外負担を含む）を期日までに納入なき場合は、上記患者と連帯して保証（支払）します。なお、連帯保証人による保証額の上限（極度額）を、各々、金30万円とします。各連帯保証人は、独立して、各々、上記の金額までの支払義務を負担します。
- (三) 患者及び連帯保証人は、連帯保証人の一人に対する履行の請求により、患者及びほかの連帯保証人についても履行請求は発生することに同意します。

(本人自署) 記 入 日 年 月 日

連帯保証人氏 名		生年月日 年 月 日	才
住 所	〒	続柄	
		固定電話	
		携帯電話	
勤 務 先		勤務先電話	

(本人自署) 記 入 日 年 月 日

連帯保証人氏 名		生年月日 年 月 日	才
住 所	〒	続柄	
		固定電話	
		携帯電話	
勤 務 先		勤務先電話	

※ 連帯保証人は、支払い能力のある方をお願い致します。



もしものときのために
あなたのお気持ちを聞かせてください

思わぬ事故や病気で、自分の思いや考えを伝えられなくなったときに備えて、あなたの大切にしていることや望み、どのような治療やケアを望んでいるかについて考えてみましょう。あなたの信頼する家族や医療者と一緒に、最期の過ごし方を話し合っていくことをアドバンス・ケア・プランニング(人生会議)といいます。最期まで自分らしく生きるために大切な役割を果たします。

該当する内容に ✓ をご記入下さい。

1、もしも生きていけることができる時間が限られていたら、あなたにとって大切なことは何ですか？

- | | |
|--|---|
| ☐ 家族や友人と過ごすこと | ☐ できる限りの治療が受けられること |
| ☐ 身の周りの事が自分でできること | ☐ 家族の負担にならないこと |
| ☐ ひとりの時間が持てること | ☐ 経済的なこと |
| ☐ 趣味の時間を持つこと | ☐ 痛みや苦しみを少なくすること |
| ☐ 仕事や社会的な役割を続けること | |

2、自分の思いや考えを伝えられなくなったときに、あなたの代理人として受ける医療やケアなどについて、意思決定してくれる人(信頼できる人)を選びましょう。

- | | | |
|--------------------------------------|----------------------------------|-----------------------------------|
| ☐ 配偶者(夫・妻) | ☐ 子・子の配偶者 | ☐ 親・きょうだい |
| ☐ 親戚(おい・めいなど) | ☐ 友人・知人 | ☐ 頼める人がいない |

入院時のご連絡先の方でよろしいでしょうか

☐ はい ☐ いいえ(いいえの場合は、以下にご記入下さい)

名前： 続柄： 連絡先：

3、もしものときが近くなったときに、どこで療養(治療やケア)したいですか？

- ☐ 病院 ☐ 介護施設 ☐ 自宅

・患者氏名

・記入日 令和 年 月 日

記入者
☐ (ご本人)

☐ 代理人・代筆者 続柄

4、あなたのご自身の病名や余命を知りたいですか？

- ☐ 病名も余命も知りたい ☐ 病名のみ知りたい ☐ 知りたくない
☐ その他(ご不安や、その他お考えがあればお聞かせ下さい)

5、自分の思いを伝えられなくなったときに、どのような治療を望みますか？

- ☐ 可能な限り延命治療を受けたい ☐ 延命治療を希望しない
☐ 苦痛を少なくして欲しい ☐ 今は決められない

※延命治療については裏面をご参照ください

6、食べられなくなったときに、どうしてほしいですか？

- ☐ 胃や鼻からチューブで流動食を入れてもよい
☐ 胃や鼻からチューブで流動食を入れてほしくない
☐ 今は決められない

お考えが変わった際は、いつでも書き直せますのでご安心ください

延命治療とは、病状や衰弱が進み治療回復の見込みのない人に対する延命だけを目的とした医療行為のことです。

○呼吸がつらくなったり、できなくなったとき

□や鼻から気管に管を入れて、呼吸の通り道を確保した上で、人工呼吸器につなぎます。
この処置には苦痛を伴うため、薬で眠らせて意識を低下させることがあります。気管に管を入れていると、声を出したり、食事をすることはできません。

○心臓が止まったとき

「心臓マッサージ」と呼ばれる処置を行います。胸のあたり（胸骨）を圧迫することで、心臓から血液を全身に送り出し、心臓の動きを再開させることを目的とします。この処置によって、肋骨が折れることがあります。

○血圧が下がったとき

心臓の機能が低下したり、出血量が多くなったりすると、血圧が低下します。
その場合、輸液・輸血、昇圧剤（血圧を上げるための薬）を投与します。



こうした治療を行わない場合、体の自然な働きに任せることになり、自然な形で最期を迎えることになります。無理に治療を続けるのではなく、体の変化に寄り添いながら過ごしていくという考え方です。

どのような最期を迎えたいかは、ご本人やご家族の考え方によって異なります。

ご相談したいことは、遠慮なく主治医・看護師にお話してください。

診断書・証明書および保険外費用について

当院では、健康保険法の療養費用に該当しない下記の保険外費用について、その料金や利用回数に応じてご負担をお願いしております。

診断書・証明書等	金額(税込)
普通診断書	¥2,200/通
国民年金（厚生年金保険）診断書	¥5,500/通
身体障害者認定診断書・意見書	¥5,500/通
臨床調査個人票（難病手続き）	¥5,500/通
肝炎治療受給者証の交付申請に係る診断書(新規・更新)	¥5,500/通
都道府県公安委員会提出用	¥2,200/通
通院証明書(自動車税用・自動車所得税用)	¥1,100/通
死亡診断書・死体検案書	¥5,500/通
生命保険入院証明書	¥5,500/通
生命保険死亡診断書	¥3,300/通
生命保険障害診断書	¥5,500/通
生命保険通院証明書	¥2,200/通
生命保険医療証明書	¥2,200/通
生命保険質問書・回答書	¥11,000/通
障害診断書兼入院・手術証明書	¥5,500/通
警察提出用診断書	¥3,300/通
自賠請求用診断書	¥3,300/通
自賠請求明細書	¥3,300/通
交通事故診断経過書	¥3,300/通
交通事故後遺診断書	¥5,500/通
市町村交通災害共済用診断書	¥3,300/通
診断書（様式第10号、16号の7）	¥4,400/通
アフターケアの更新申請書	¥4,400/通
医師の意見書	¥2,200/通
復職就職診断書・就労可能証明書	¥2,200/通
職安に提出する診断書	¥2,200/通
老人ホーム入所用診断書	¥2,200/通
デイサービス用診断書	¥1,100/通
オムツ使用証明書	¥550/通
領収証明書	¥330/枚
通院証明書	¥1,100/枚
診療明細書（再発行）	¥110/件
退院証明書（再発行）	¥550/件

予防接種	金額(税込)
水痘ワクチン（带状疱疹等）	¥6,600/回
シングリックス（带状疱疹）	¥20,000/回
麻しん風しん混合ワクチン(MRワクチン)	¥8,800/回
おたふくワクチン（ムンプス）	¥4,400/回
破傷風予防	¥2,200/回
B型肝炎（ビームゲン）1回（全3回）	¥4,400/回
肺炎球菌ワクチン（助成なし）	¥7,660/回
肺炎球菌ワクチン（始良市助成あり）	¥3,580/回
肺炎球菌ワクチン（鹿児島市助成あり）	¥3,000/回
日本脳炎	¥5,500/回
髄膜炎菌ワクチン（メンクアッドフィ）	¥24,000/回

診療録等の開示請求等	金額(税込)
診療録等の開示請求料金	¥5,500/件
コピー代	¥10/枚
C D - R	¥330/枚
D V D - R	¥550/枚

その他	金額(税込)
診察券再発行	¥110/枚
冷蔵庫使用料	¥110/日
浴衣（サイズM・L）	¥3,990/枚
浴衣（サイズL・L）	¥4,350/枚
セーフティーセット・化粧セット(逝去時ケア)	¥5,000/個
死亡時画像診断	¥15,000/回

※診断書・証明書等の申込みについては、11ページをご参照下さい。

※一覧表に記載のない書類など、ご不明な点がありましたら1階受付または各病棟医事へお問合せ下さい。



社会医療法人 青雲会

青雲会病院

- 外 科 ●内 科 ●脳神経外科 ●整形外科 ●消化器外科 ●肛門外科
- 胃腸内科 ●呼吸器内科 ●循環器内科 ●消化器内科 ●内視鏡内科 ●糖尿病内科
- 眼 科 ●泌尿器科(人工透析) ●リハビリテーション科 ●歯科口腔外科



〒899-5431 鹿児島県始良市西餅田3011番地

TEL.0995-66-3080

FAX.0995-66-3057

E-mail:hospseiun@seiunkaibyoun.jp



■人間ドックに関するお問い合わせ

TEL. 直通 0995-66-3650

(受付時間:月～金 10時～16時)



青雲会病院

検索



ホームページでより詳しくご案内します。

青雲会病院のホームページでは、院内の雰囲気や各種検査の様子を詳しく説明しています。
皆様のアクセスをお待ちしております。